屋外用チューブ型 AHD カメラ
LC-A520A
取扱説明書

お客様へ

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
また、お読みになった後は、いつでも確認できるように場所を定めて保管してください。

株式会社ケービデバイス

目 次

1. 使用上のご注意 3
2. 内容物 4
3. カメラ各部の名称 5
4. カメラの設置について 5
    4.1. 画角の設定 5
    4.2. カメラの取付け 6
5. カメラの接続について 7
6. カメラの設定（オン・スクリーン・ディスプレイ -OSD- ）について 7
    6.1. 基本操作 7
    6.2. レンズ 8
    6.3. 露出 8
    6.4. BACKLIGHT（逆光補正） 11
    6.5. ホワイトバランス 13
    6.6. DAY&NIGHT 13
    6.7. NR（ノイズ除去） 15
    6.8. スペシャル機能 15
    6.9. 調整 20
7. 製品仕様 22
8. 外形寸法図 23

保証書 24

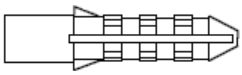
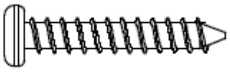
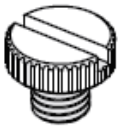
1. 使用上のご注意

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。

- 火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所（温度、湿度変化の激しい場所）や水の入る場所には、設置しないでください。
- 表示された電源電圧を越える電圧は加えないでください。火災及び感電の恐れがあります。
- 電源接続時は 2 芯ケーブルの極性に注意してください。極性を誤って接続すると、機器が故障する恐れがあります。
- 本製品の上に水の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないでください。本体内に液体や金属が入ると、火災及び感電する恐れがあります。
- 本製品を分解・改造しないでください。火災及び感電の原因になります。メンテナンスや検査が必要な場合は、製品を購入した販売店にご連絡ください。
- 工事の際は、電源が切れているかを確認し、落下に注意してください。また、濡れた手で作業を行わないでください。感電及び破損する恐れがあります。
- 落雷時には作業を直ちに終了し、本体への電源供給を直ちに中止してください。感電する恐れがあります。
- 東日本（50Hz 電源地域）では蛍光灯の明かり等で映像にちらつきが見られる場合があります。詳細は、「 6.3 露出（9 ページ） 」をお読み頂き、設定を変更してください。
- 異音や煙、におい等の異常があると見受けられた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用を続けると火災及び感電する恐れがあります。製品を購入した販売店にご相談ください。
- 本製品は精密機器です。振動や強い衝撃を与えないでください。本体の破損につながります。
- 運送時の落下、振動によって発生した危機の破損についての責任を弊社は負うことができません。あらかじめご了承ください。
- 本製品で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係わる機密情報が含まれる場所がありますので「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることをお勧め致します。
- 本製品に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

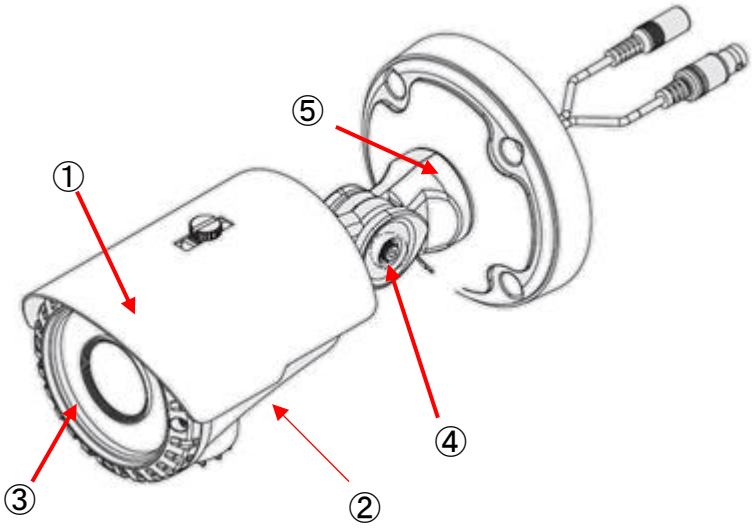
2. 内容物

以下のものが同梱されているか、ご確認ください。

	カメラ本体
	アンカー　6x30　／　4 本
	ネジ　4x35　／　4 本
	L 型レンチ　3mm　／　1 本
	サンバイザー取付けボルト　／　1 本
	映像出力ケーブル　／　1 本
	取扱説明書（本書）　／　1 冊

3. カメラ各部の名称

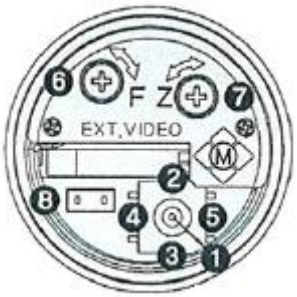
① サンバイザー
② カメラ本体
③ 本体カバー
④ ブラケット角度調整ビス
（付属のレンチを使用）
⑤ カメラ取付けブランケット



4. カメラの設置について

【 4.1 画角の設定 】

本体内部の画角調整ビスで、レンズの調整を行います。



① ～ ⑤ OSD 操作レバー

操作レバー中央をまっすぐ押し込むと OSD（オン･スクリーン･ディスプレイ）メニューが展開されます。
OSD メニュー画面内で操作レバーを上下左右に動かすことでカーソルを移動させることができます。

⑥ FOCUS（フォーカス）

プラスドライバーを使用して、NEAR（近距離）側と FAR（遠距離）側を調整することができます。

⑦ ZOOM（ズーム）

プラスドライバーを使用して、TELE（望遠）側と WIDE（広角）側を調整することができます。

⑧ ビデオテストケーブル差し込み口

付属のビデオテストケーブルを差し込むことにより、映像信号を出力することができます。
※モニター等に接続すれば設置位置付近で映像を確認しながらカメラの調整を行うことができます。

【 4.2　カメラの取付け 】

以下の手順で、カメラの取付けを行ってください。

① ケーブルを通すため、直径 25mm の穴を開けます。

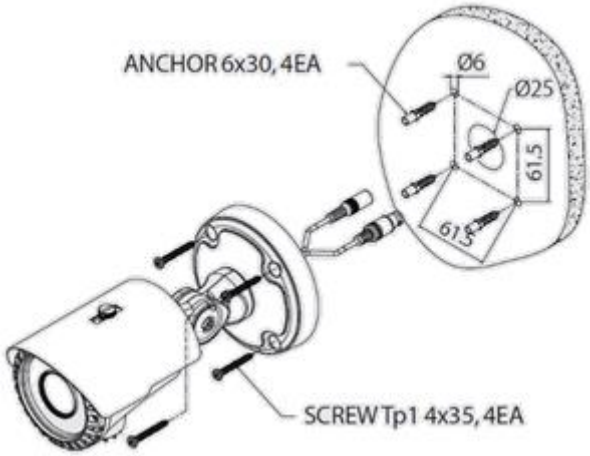
② 壁または天井に 4 つの穴を開け、カメラ土台を固定するアンカーを挿入します。

※ カメラは必ず、平らな面に取付けてください。

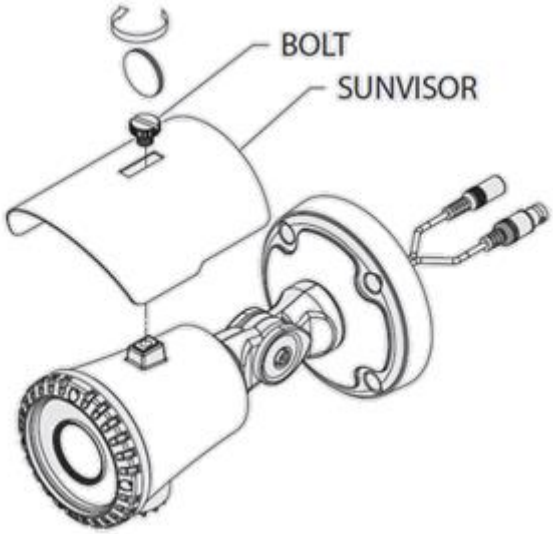
凹凸な面に取付けると、水がカメラ内部に浸水し故障に繋がる可能性があります。

③ ケーブルの長さ等を調整し、ネジで固定します。

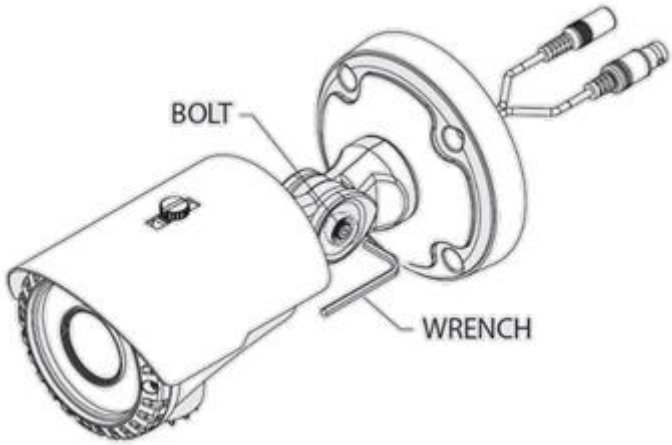
※ 固定する際、必ず水抜け穴が下になるように向きを調整してください。



④ カメラ本体にサンバイザーを取付け、ボルトで固定します。



⑤　レンチを使用して、ボルト部分を緩めます。



⑥　カメラの画角を調整します。

⑦　画角調整後、ボルトをレンチで締め、設置は完了となります。

※　設置後、必ず、カメラと天井または壁が接触している部分やネジ穴部分にコーキングを施してください。雨水などが浸入し、カメラが故障する恐れがあります。

※　コーキングを行う際、水抜け穴は埋めないでください。

⚠警告

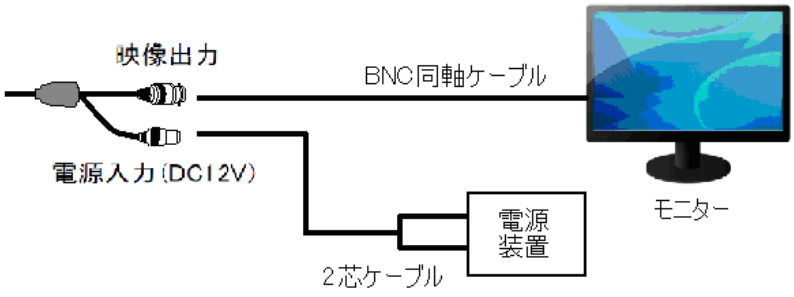
設置場所がカメラの重量に耐えられるかを確認してください。

設置場所の強度が不足すると、カメラが落下し、けがをする恐れがあります。

5. カメラの接続について

以下の映像・電源用の各ケーブルをご用意の上、それぞれ以下の図のように接続してください。

- メス型 BNC コネクタ付同軸ケーブル
- 2 芯ケーブル（**電源接続時に、極性（ ＋ ／ － ）を間違えないように注意してください。**）



⚠ 警告

2 芯ケーブルの極性（+ −）には十分に注意してください。
極性を誤ると、機器が故障する恐れがあります。

6. カメラの設定（オン・スクリーン・ディスプレイ　ーOSDー）について

カメラの各種設定を行うことができます。
カメラ映像を確認しながら、本体内部の OSD 操作レバーで設定を行ってください。

【 6.1　基本操作 】

- 操作レバーの中央を押すと、OSD 設定画面が表示されます。
- 上下にレバーを倒すことで各項目を移動し、左右にレバーを倒すことで設定内容を変更します。
- 「 ↵ 」の表示のある項目でレバー中央を押すことで、その項目のさらに詳細な設定画面に移動します。
- 各項目内の「　戻る　」を選択すると、ひとつ前の画面に戻ります。
- **設定を完了する際は、最初の画面の「終了」欄で「保存＆終了」を選択してください。**
- 「終了」では、以下の操作ができます。左右にレバーを倒して選択し、中央を押して実行してください。
  - 保存＆終了　：　設定内容を保存し、終了します。
  - リセット　：　設定内容を工場出荷時の初期設定に戻します。
  - 保存しない　：　設定内容を破棄し、以前の設定のまま終了します。

【 6.2　レンズ 】

レンズの種類は、「DC」を選択してください。レバー中央を押すことで、以下の設定画面に移動します。

- **モード**　:　撮影場所に応じて、「室内」または「室外」を選択します。
  - ➢ 「室外」を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

  - ✓ **MIN SHU**　:　最小シャッタースピードを表示します。(1/30　固定)
  - ✓ **MAX SHU**　:　最大シャッタースピードを設定します。(FLK / 1/60 / 1/240 / 1/480 / 1/1000 / 1/2000 / 1/5000 / 1/10000 / 1/50000)
- **IRIS SPEED**　:　オートアイリスの調整スピードを設定します。(0　～　15)

【 6.3　露出 】

レバー中央を押すことで、以下の設定画面に移動します。

- **FLK MODE(フリッカレス モード)**　:　東日本(50Hz 電源地域)でご使用時、蛍光灯の明かり等のちらつきが気になる場合は、「ON」を選択してください。

※ FLK(フリッカレス)

シャッタースピードを 1/100sec に固定し、50Hz 地域での画面のちらつき(フリッカ)を抑制します。
但し、シャッタースピードが固定され、露光量が調整できず明るい場所で映像が白とびすることがあります。

- **シャッター**　:　シャッタースピードを設定します。(オート/ FLK / 1/30 ～ 1/50000 / x2 ～ x30)
  ※ 「FLK MODE」を「ON」にしている場合は、「FLK」として固定されます。

- AGC　：　オートゲインコントロールのレベルを設定します。(1 ～ 15)

> ※ AGC(オートゲインコントロール)
> 撮影の場所に応じて映像信号の強弱を一定にして見やすい映像に自動調整します。
> カメラの感度が上がり、画面が明るくなります。但し、少しざらついた映像になります。

- SENS-UP　：　画面の明るさを調整します。(OFF / オート)

> ※ SENS-UP(センス-アップ)
> 被写体の明るさに応じて自動的に含蓄時間を調整します。
> 倍率を上げると、画面のざらつきや、白傷が現れる場合がありますが、異常ではありません。

➢ 「オート」を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

✓ SENS-UP　：　センサーの含蓄時間を調整します。
(x2 / x4 / x6 / x8 / x10 / x15 / x20 / x25 / x30)

- 明るさ　：　画面の明るさを調整します。(1 ～ 100)

- D-WDR　：　ワイドダイナミックレンジ機能の設定を行います。(OFF / ON / オート)

> ※ WDR(ワイドダイナミックレンジ)
> 高速シャッターと低速シャッターで撮影した 2 つの画像を合成して取り出すことで暗部は明るく、
> 明部は暗くして明暗部の両方を確認可能にする機能です。

➢ 「ON」を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

✓ レベル　：　感度を調整します。(1 ～ 8)

- **DEFOG**　:　霧消し補正モードの設定を行います。(OFF / オート)
  - 「オート」を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

✓ **POS/SIZE（ポジション/サイズ）**　:　DEFOG 機能を有効にする範囲を設定します。
レバー中央を押すことで、画面に緑の枠が表示されます。

① レバーを上下左右に倒すことで、緑の枠（エリア）の位置を調整できます。
② レバー中央を押すと、中央の文字が「SIZE」に切り替わります。
③ 再度、レバーを上下左右に倒すことで、緑の枠（エリア）の大きさを調整できます。
④ 調整後、レバー中央を押します。
⑤ 調整を終了する場合は、「RET」側に　調整しなおす場合は、「AGAIN」側にレバーを倒して
レバー中央を押します。
※ 「AGAIN」を選択した場合、①から手順を行ってください。

✓ **グラデーション**　:　DEFOG 機能の精度を調整します。(0 ～ 2)
✓ **初期設定**　:　レバー中央を押すと、DEFOG 機能に関して、初期設定に戻します。

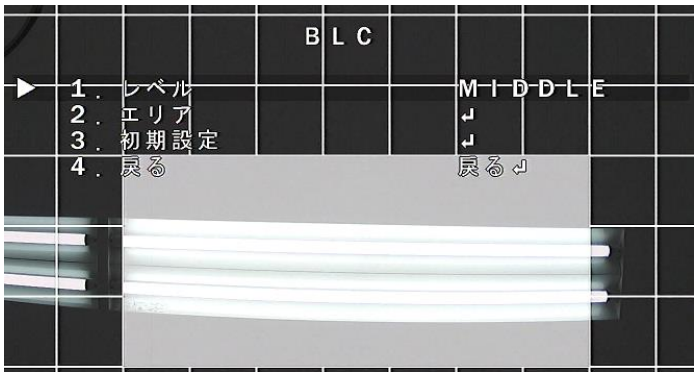
【 6.4　BACKLIGHT 】

逆光補正のレベルを調整します。(OFF / BLC / HSBLC)

- **BLC**　:　逆光補正機能を有効にします。

> ※　BLC（逆光補正）
> 逆光条件下の撮影の場合に使用することで、被写体をはっきりと撮影する機能です。

➢　本項目を選択中し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。



✓　**レベル**　:　逆光補正のレベルを調整します。(LOW / MIDDLE / HIGH)

✓　**エリア**　:　逆光補正エリアを選択します。

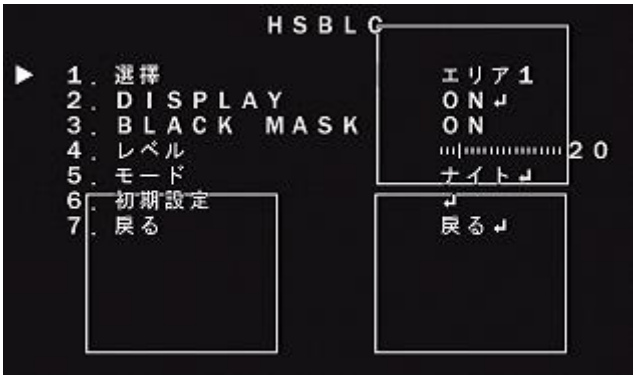
エリアの設定方法については、「6.3　露出　DEFOG（10 ページ）」をご覧ください。

✓　**初期設定**　:　レバー中央を押すと、BLC 機能に関して、初期設定に戻します。

- HSBLC　：　ハイライト補正機能を有効にします。

> ※ HSBLC（ハイライトコントロール）
> 逆光により極度に明るい箇所を黒くカバーし、周囲の被写体をはっきりと撮影する機能です。

➢ 本項目を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。



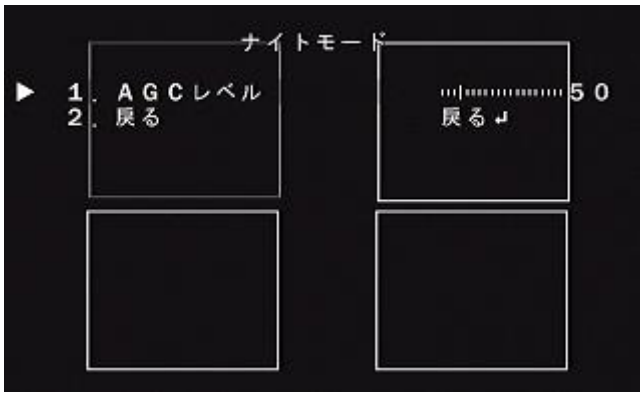
✓ **選択**　：　ハイライト補正のエリアを選択します。（ エリア 1 ／ エリア 2 ／ エリア 3 ／ エリア 4 ）

✓ DISPLAY　：　ハイライト補正エリアの位置及び大きさを調整します。（ OFF ／ ON ）
調整方法については、「6.3　露出　DEFOG（10 ページ）」をご覧ください。

✓ BLACK MASK　：　エリア内の光源が強い部分に対して黒色のマスクを表示します。

✓ **レベル**　：　ハイライトの感度を調整します。（ 0 ～ 100 ）

✓ **モード**　：　HSBLC 機能を有効にする期間を設定します。（ 終日 ／ ナイト ）
※ ナイトモードを選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。



◆ AGC　：　オートゲインコントロールのレベルを調整します。（ 0 ～ 255 ）

> ※ AGC（オートゲインコントロール）
> 撮影の場所に応じて映像信号の強弱を一定にして見やすい映像に自動調整します。
> カメラの感度が上がり、画面が明るくなります。但し、少しざらついた映像になります。

【 6.5　ホワイトバランス 】

色の補正を行います。(ATW / AWC→セット / 室内 / 室外 / マニュアル / AWB)

> **※ ホワイトバランス**
> 光源の種類によって、白いものを白く写るように色の補正を行う機能です。

- **ATW** ： 自動的に周囲の色温度変化に対応し、常に最適なホワイトバランスになるように調整します。
- **AWC→セット** ： レバー中央を押すことで、現在の撮影環境での最適なホワイトバランスに調整します。
- **室内** ： 室内環境で、最適なホワイトバランスに調整します。
- **室外** ： 室外環境で、最適なホワイトバランスに調整します。
- **マニュアル** ： 手動でホワイトバランスを調整します。
  - ➢ レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

    - ✓ **BLUE** ： 青色の補正レベルを調整します。(0 ～ 100)
    - ✓ **RED** ： 赤色の補正レベルを調整します。(0 ～ 100)
- **AWB** ： 自動的に最適なホワイトバランスの調整を行います。

【 6.6　DAY&NIGHT 】

デイ&ナイト機能の設定を行います。(オート / カラー / 白/黒 / EXT)

> **※ デイ&ナイト**
> 昼間の明るい時は、IR カットフィルターで赤外線を除去し、カラー映像を映し出します。
> 夜間の暗い時は、自動的に IR カットフィルターを外し赤外線を取り入れるようにし、さらに高感度のモノクロ撮影に切り替わる機能です。これにより、24 時間撮影が可能となります。

- **オート** ： デイ&ナイト機能を有効にします。(画像の明るさによって撮影を切り替えます。)
  - ➢ 「オート」を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

- ✓ D→N（AGC）　：　カラーからモノクロに切り替える際の AGC 値を調整します。（ 1 ～ 255 ）
- ✓ D→N（CDS）　：　カラーからモノクロに切り替える際の CDS センサー値を調整します。（ 1 ～ 255 ）
- ✓ D→N（DELAY）　：　カラーからモノクロに切り替えるタイミングを感知してから実際に切り替えるまでの遅延時間を調整します。（ 0 ～ 60 ）
- ✓ N→D（AGC）　：　モノクロからカラーへ切り替える際の AGC 値を調整します。（ 1 ～ 255 ）
- ✓ N→D（CDS）　：　モノクロからカラーへ切り替える際の CDS センサー値を調整します。（ 1 ～ 255 ）
- ✓ N→D（DELAY）　：　モノクロからカラーに切り替えるタイミングを感知してから実際に切り替えるまでの遅延時間を調整します。（ 0 ～ 60 ）

- **カラー**　：　強制的に、昼間モード（カラー映像）で撮影を行います。
- **白/黒**　：　強制的に、夜間モード（モノクロ映像）で撮影を行います。
  - ➢ 「白/黒」を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

- ✓ **バースト**　：　「ON」にするとバースト機能を有効にします。（ OFF / ON ）
- ✓ IR SMART　：　「ON」にすると、赤外線の光量を調整し、画面が白くなる状態を抑えます。（ OFF / ON ）

- EXT　：　デイ&ナイト機能を有効にします。（照度センサーによって撮影を切り替えます。）
  - ➢ 「EXT」を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

- ✓ D→N（DELAY）　：　カラーからモノクロに切り替えるタイミングを感知してから実際に切り替えるまでの遅延時間を調整します。（ 0 ～ 60 ）
- ✓ N→D（DELAY）　：　モノクロからカラーに切り替えるタイミングを感知してから実際に切り替えるまでの遅延時間を調整します。（0 ～ 60）

【 6.7　NR 】

ノイズ除去機能の設定を行います。

> ※ NR(ノイズリダクション)
> 低照度のちらつき(ノイズ)を低減させることができます。レコーダーによる録画時、ノイズによる
> 記録データの大容量化を抑えます。但し、動きのある被写体では残像が発生する場合があります。

レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

- **2DNR**　:　2 次元ノイズリダクションの感度を調整します。(LOW / MIDDLE / HIGH / OFF)
- **3DNR**　:　3 次元ノイズリダクションの感度を調整します。(LOW / MIDDLE / HIGH / OFF)

【 6.8　スペシャル機能 】

言語設定やカメラタイトルの設定を行います。

レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

- **CAM TITLE**　:　カメラタイトルの表示を切り替えます。(OFF / ON)
  - 「ON」を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

レバー操作で、カメラタイトルを設定します。

CLR　:　文字を消去します。

POS　:　本機では使用しません。

END　:　カメラタイトル操作を終了します。

- **D-EFFECT**　：　映像反転やフリーズ機能などを有効にします。
  - ➢ レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

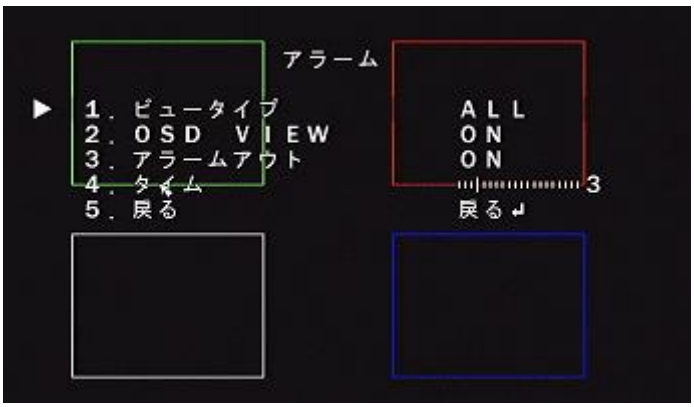
  - ✓ **フリーズ**　：　「ON」にすると、その時点で映像を一時停止させます。（ OFF ／ ON ）
    ※ 録画は継続されます。
  - ✓ **ミラー**　：　「ON」にすると、映像を左右反転して表示します。（ OFF ／ ON ）
  - ✓ **NEG.IMAGE**　：　「ON」にすると、映像をネガポジ反転して表示します。（ OFF ／ ON ）

- **動き検知**　：　動き検知機能の設定を行います。（ OFF ／ ON ）
  - ➢ 「ON」を選択した状態で、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

  - ✓ **選択**　：　設定する検知エリアを選択します。（ エリア 1 ～ 4 ）
  - ✓ **DISPLAY**　：　検知エリアの位置や大きさを設定します。（ OFF ／ ON ）
    調整方法については、「6.3　露出　DEFOG（10 ページ）」をご覧ください。
  - ✓ **SENSITIVITY**　：　検知エリアの感度を調整します。（ 0 ～ 100 ）
  - ✓ **カラー**　：　検知エリア枠の色を設定します。（ GREEN ／ BLUE ／ WHITE ／ RED ）
  - ✓ **トランス**　：　本機では使用しません。

✓ **アラーム** ： 動きを検知した場合の映像表示方法を設定します。

➢ レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。



◆ **ビュータイプ** ： 動きを検知したエリアの表示演出を設定します。
（ ALL / ブロック / アウトライン / OFF ）

◆ **OSD VIEW** ： 「ON」にすると、動きを検知際に画面下に「MOTION DETECTED」と表示されます。（ ON / OFF ）

◆ **アラームアウト** ： 本機では使用しません。

◆ **タイム** ： 動きを検知してから何秒間アラーム出力を行うかを設定します。
（ 0 ～ 15 ）

✓ **初期設定** ： 動き検知に関して、設定を初期化します。

- **プライバシーマスク** ： プライバシーマスク機能を設定します。（ OFF / ON ）

➢ 「ON」を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

✓ **選択** ： 設定するマスクエリアを選択します。（ エリア 1 ～ 4 ）

✓ **DISPLAY** ： マスクの表示演出を設定します。（ モザイク / インバータ / カラー / OFF ）

➢ 各演出方法を選択した状態で、レバー中央を押すことで、マスクエリアの位置と大きさを設定することができます。
調整方法については、「6.3 露出 DEFOG（10 ページ）」をご覧ください。

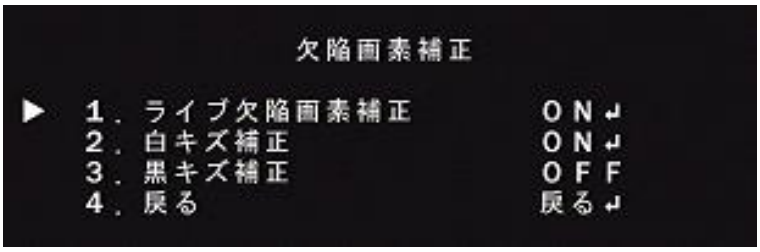
✓ **カラー** ： 「DISPLAY」にてカラーを選択しているエリアの色を設定します。
（ WHITE / BLACK / RED / BLUE / YELLOW / GREEN / CYAN / USER ）

✓ **トランス** ： 「DISPLAY」にてカラーを選択しているエリアの色濃度を設定します。
（ 0.25 / 0.50 / 0.75 / 1.00 ）

✓ **初期設定** ： プライバシーマスク機能に関して、設定を初期化します。

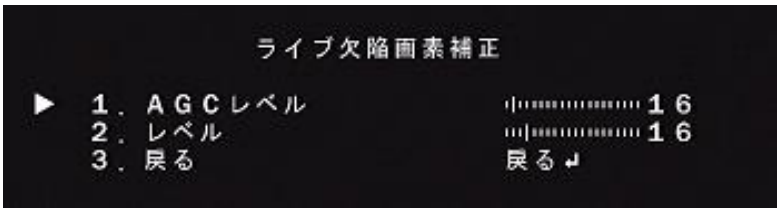
- **言語** ： OSD の表示言語を設定します。
  - ➢ レバーを左右に倒して言語を選択し、レバー中央を押すと言語を反映します。
    ※ 日本語を選択する場合は、「JPN」を選択してください。

- **欠陥画素補正** ： 映像の画素補正を行います。
  - ➢ レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。



✓ **ライブ欠陥画素補正** ： ライブ映像の欠陥画素補正を行います。（ ON / OFF ）

➢ 「ON」を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。



◆ **AGC レベル** ： 欠陥補正機能を使用する画面の明るさを調整します。
（ 0 ～ 255 ）

◆ **レベル** ： 補正レベルを調整します。（ 0 ～ 100 ）
レベル設定が高いほど、補正強度は強くなります。

✓ **白キズ補正**　：　映像上の輝点（ノイズ）を補正します。

➢ 「ON」を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

◆ POS/SIZE　：　白キズ補正エリアの位置と大きさを設定します。
調整方法については、「6.3　露出　DEFOG（10 ページ）」を
ご覧ください。

◆ スタート　：　白キズ補正を開始します。
レバー中央を押すことで、画面が真暗になります。
「PRESS ENTER」と表示されたら、レバー中央を押してください。

◆ DPC VIEW　：　画面を真暗にし、白キズの位置を確認することができます。

◆ レベル　：　白キズの検出レベルを調整します。（ 0 ～ 100 ）

◆ AGC　：　オートゲインコントロールを調整します。（ 0 ～ 14 ）

◆ SENS-UP　：　感度を調整します。（ x2 / 4 / 6 / 8 / 10 / 15 / 20 / 25 / 30 ）

✓ **黒キズ補正**　：　映像上の滅点（ノイズ）を補正します。

➢ 「ON」を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

◆ POS/SIZE　：　黒キズ補正エリアの位置と大きさを設定します。
調整方法については、「6.3　露出　DEFOG（9 ページ）」を
ご覧ください。

◆ スタート　：　レバー中央を押すことで、黒キズ補正を開始します。

◆ DPC VIEW　：　画面を真白にし、黒キズの位置を確認することができます。

◆ レベル　：　黒キズの検出レベルを調整します。（ 0 ～ 100 ）

- RS485　：　本機能は使用できません。
  - ➢ レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

※ 本項目の設定値は変更しないでください。

【 6.9　調整 】

レンズの調整やモニター出力の調整などを行います。

レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

- SHARPNESS　：　映像の輪郭を設定します。(オート / OFF)
  - ➢ 「オート」を選択し、レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

  - ✓ **レベル**　：　輪郭の強調レベルを調整します。(0 ～ 10)

- **モニター**　：　モニターのガンマ値を設定します。(LCD / CRT)
  - ✓ **LCD**　：　液晶モニターの設定を行います。
    - ➢ レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

◆ ガンマ　：　ガンマ値を設定します。(USER / 0.45 ～ 1.00)

◆ BLUE GAIN　：　青色の色合いを調整します。(0 ～ 100)

◆ RED GAIN　：　赤色の色合いを調整します。(0 ～ 100)

  - ✓ **CRT**　：　ブラウン管モニターの設定を行います。
    - ➢ レバー中央を押すことで、以下の詳細画面に移動します。

◆ BLUE GAIN　：　青色の色合いを調整します。(0 ～ 100)

◆ RED GAIN　：　赤色の色合いを調整します。(0 ～ 100)

- **レンズ沈み補正**　：　「ON」を選択し、レンズによる色ボケや歪み補正の設定を行います。(ON / OFF)
- **ビデオアウト**　：　映像出力形式を変更します。(NTSC / PAL)

※　映像出力の形式が不適切だった場合、映像が正常に表示されなくなります。

以下のレバー操作によって、映像出力形式を変更することができます。

OSD 表示を閉じている状態で・・・

- ➢ **レバーを 5 秒以上「 左 」へ倒したままにすると、CVBS 出力に切り替わります。**
- ➢ **レバーを 5 秒以上「 右 」へ倒したままにすると、AHD 出力に切り替わります。**
- ➢ **レバーを 5 秒以上「 下 」へ倒したままにすると、NTSC または、PAL 出力に切り替わります。**

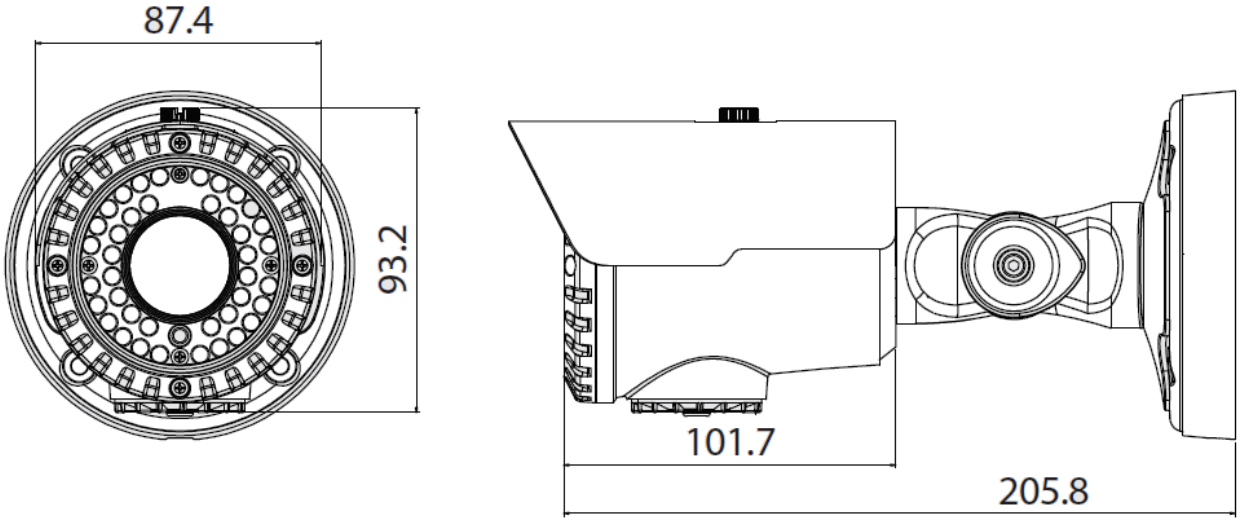
7. 製品仕様

品名		屋外用チューブ型 AHD カメラ
型式		LC-A520A
撮像素子		1/2.9 CMOS センサー（SONY）
映像出力		AHD
出力端子		BNC
有効画素数（H x V）		1920 x 1080 （約 200 万画素）
全画素数		1984 x 1105
フレームレート		30fps(1080p)
走査方式		プログレッシブ
同期方式		内部同期
レンズ焦点距離		2.8 ～ 12 mm
撮像角度	ワイド端	水平：約 92° ／ 垂直：約 60°
	テレ端	水平：約 29° ／ 垂直：約 16°
最低被写体照度		カラー：1.0 lx ／ モノクロ：0 lx
赤外線投光	ON ／ OFF	モノクロモードで常時 ON
	投光距離	約 30m
	投光角度	約 30°
電子シャッター		オート ／ 1/30～1/50000 秒 ／ x2～x30 ／ フリッカレス（1/100 秒固定）
デジタルワイド ダイナミックレンジ （D-WDR）		OFF ／ ON ／ オート
逆光補正（BLC）		OFF ／ BLC ／ HSBLC
AGC		1 ～ 15
フリッカレス		○（1/100 秒固定）
デイ&ナイト		オート（ICR 開閉） ／ カラー固定 ／ モノクロ固定
ホワイトバランス		ATW ／ AWB ／ 室内 ／ 室外 ／ AWC（プッシュ） ／ マニュアル
SENS UP		OFF ／ オート（x2～x30）
ノイズ除去（3DNR）		OFF ／ LOW ／ MIDDLE ／ HIGH
霧除去（Defog）		OFF ／ オート
プライバシーマスク		OFF ／ ON（最大 4 箇所、8 色、モザイク）
動体検知		OFF ／ ON（最大 4 箇所）
画像反転		OFF ／ 水平 ／ 垂直 ／ 回転
調整用モニタ出力		x
電源電圧		DC12V（DC ジャック）
最大消費電力		9.5W

最大伝送距離	200m（3C-2V 同軸ケーブル） / 400m（5C-FB 同軸ケーブル）
動作温度（湿度）	-10℃～50℃（0～85% ただし結露なきこと）
保護等級	IP66
外形寸法	83（φ） x 120（奥行） mm
質量	約 600g
付属品	六角レンチ / 取扱説明書 / タッピングビス / アンカー
原産国	韓国

※使用は改良の為、予告なく変更することがあります。

8. 外形寸法図



単位 ： [mm]

保証書

お買い上げ年月日		販売店名
保証期間	商品お買い上げ後 **1 年間**	
会社名		
ご住所		
ご担当者		
電話番号		

※お願い：お買い上げ時に必ずご記入ください。本書は大切に保存して下さい。再発行は致しません。

<保証規定>

1. 取扱説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理致します。
   販売会社もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。

<保証条件>

次に該当する故障は保証期間であっても実費にて修理を申し受けます。

1. 誤った取扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による損傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による損傷。
3. 本書上記項目に必要事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合。

株式会社ケービデバイス
本社 〒600-8086 京都市下京区松原通東洞院東入本燈籠町 22 番地 2
TEL 075-354-3372 FAX 075-354-3382